

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2024年度(財)日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項・競技注意事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、メイン競技場第4ゲート外側倉庫内に設ける。
- (2) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・ユニフォーム・商標等の点検を行う。
- (3) 携帯電話、スマートフォン等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。(TR 6.3.2)
- (4) 競技用靴については、競技規則の通りとする。(TR5.2) ただし、小学生については、適用外とする。
- (5) 招集後は、係員の誘導に従い入場する。
- (6) 招集は、代理人による招集は認めず、本人が行う。同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。
- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は出場できない。

【招集時間】

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全ての種目	30分前	20分前
フィールド競技	種目により違うのでタイムテーブルで確認すること		
小学生コンバインド	走高跳・走幅跳・ジャベリックボール	50分前	40分前

3 競技について

(1) トラック競技

- ①スターターの合図は英語とする。(小学生も同様とする)
- ②短距離走では、競技者・審判員等の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ③男子5000mWはスタート後30分、女子5000mWはスタート後35分でレースを打ち切ることがある。

(2) フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は内側)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ③三段跳の踏切版は、男子13m、女子10mで行う。
- ④棒高跳の競技者は、自分が希望するバーの位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出ること。その後バーの位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出ること。
- ⑤走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。
(ただし、天候等の状況により審判長の判断で変更することもある)

	練習A	練習B	練習C	1	2	3	4	5	6	以後
女子走高跳	1m45	1m65		1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	3cm
男子走高跳	1m80	2m00		1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cm
女子棒高跳	2m80	3m20	3m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	10cm
男子棒高跳	4m20	4m70	5m00	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	10cm

※練習A・練習Bはいずれか希望する高さで行う。

※第1位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

(3) リレー競技

- ①リレー競技に出場するチームは、各ラウンドにおいて「リレーオーダー用紙」を招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。(オーダー用紙は招集所・TICにも用意する)
- ②マーカーは主催者の用意するものを使用すること。

(4) 小学生大会特別規則

- ①小学生のスタートについて
 - ・同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者は失格となる。
 - ・スタートの方法は、クラウンチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくてもよい。
- ②本大会におけるコンバインド競技は以下の順とする。
 - コンバインドA：走高跳⇒80mハードル
 - コンバインドB：ジャベリックボール⇒走幅跳
- ③コンバインド種目の得点は、『JAAF小学生コンバインド種目得点表(2022年度改訂版)』による。得点は男女共通とする。
- ④80mハードル、走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ⑤スタートまたは試技を行い途中棄権(DNF)、記録なし(NM)、失格(DQ)および参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合得点は0点とする。
- ⑥1種目目に出場し、途中棄権や記録なし、失格、参考記録などの場合は2種目目に参加できる。
- ⑦1種目目に欠場した競技者(DNS)は2種目目に出場することはできない。
- ⑧1種目目または2種目目のいずれかまたは両方において、途中棄権、記録なし、失格、参考記録の場合でも2種目の合計得点として認める。
- ⑨2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点と同じ場合は同順位とする。
- ⑩80mハードルの規格は、高さ：70cm、ハードル間：7m、台数：9台とし、スタートから第1ハードルまでは13m、最終ハードルからフィニッシュまでを11mとする。
- ⑪小学生の走高跳・走幅跳・ジャベリックボール投げの公式練習はメイン競技場で実施する。補助競技場や競技場周辺での練習を禁止する。
- ⑫走高跳の跳び方は、脚が初めにバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗したとき競技終了となる。
※走高跳のバーの上げ方(天候等により変更可)
(練習：ABの選択) A:0m90cm B:1m10
(競技開始) 0m95 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20 1m25 (以降も5cm刻みとする)
- ⑬コンバインドBの走幅跳、ジャベリックボール投の試技は一人2回とする。
- ⑭ジャベリックボールの助走距離は15m以内とする。
- ⑮ジャベリックボール投の試技において、羽をもって投げることを禁止する。ボールを持って投げる
こと。
- ⑯リレー競技は男女各2名で構成する。走順は自由とする。(補欠も男女各1名とする)
- ⑰リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース(100m)に出場できる。また、当日リレー競技にチームが欠場した場合、残りの競技者は友好レースに出場することができる。
10時55分までにリレーオーダー用紙と友好レース出場者を書面にて招集所に提出すること。
なお、友好レースに出場した競技者はリレー競技の決勝に出場することはできない。ただし、リレーの予選に出場した競技者がけが等により決勝レースに出場できなくなった場合は、オーダー用紙提出前にTICに申し出をし、認められた時に出場できる。

4 ビデオ監察について

リレー競技において、バトンパスに関する区域のみのビデオ監察を行う。

5 アスリートビブスについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につけること。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技での腰ナンバーカードは、ランニングパンツの左右横にやや後方にそのままの形・大きさを正確に数字が読めるようにつけること。リレー競技(4×100mR)は第4走者がつけること。

※4×400mRにおいては、第2・3走者は右腰にナンバーカードをつけること。

※5000mWに参加する競技者は、専用のビブス(胸・背)を貸与するので着用すること。

6 競技場への入退場について

- (1) 入場は、すべて招集所より係員の誘導により行う。
- (2) 退場は下記により行う。

- ・トラック競技は、フィニッシュ後、第1ゲートを通り競技場外に退場すること。または、競技場内スタンド下通路を通りスタート場所に戻る。ただし、正面スタンド下は通行禁止とする。
- ・フィールド競技は、役員の指示によりトラック競技の進行に気をつけて退場すること。
- ・決勝において1～3位の入賞者は、係員の指示により表彰者控え席に向かうこと。

7 レーン順・競技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順はプログラムの数字で示す。
- (2) 決勝の組み合わせおよびレーン順は、本部で規定に従い決定し、大型表示・アナウンス・岐阜陸協HPで知らせる。
- (3) トラック競技の次のラウンド進出者(チーム)は、着順・タイムにより決定する。同記録がありレーンが不足する場合は抽選により決定する。(TR21)

8 抗議・上訴について (TR8)

- (1) 競技会に参加する競技者の資格に関する抗議は、競技会開始前に総務になされなければならない。
- (2) 競技に関する抗議は、競技規則により、本人または監督からTICを通して審判長に対して口頭で申し出ること。
- (3) 審判長の裁定に不服な場合は、署名された文書により、預託金(10,000円)を添えて上訴することができる。

9 助力について (TR6)

- (1) 競技者は、勝手に競技場所を離れてはならない。
- (2) 競技場内での競技者への助言は、競技場所付近のスタンドで行うこと。

10 撮影について

- (1) 望遠付きカメラでの撮影は全ての場所において不可とする。それ以外での撮影は、撮影禁止エリア外であれば可とする。
- (2) 撮影禁止エリアは、走幅跳・三段跳正面、100m・200mスタート付近(後方含む)とする。

※著しく迷惑をかける行為として主催者が判断した場合は、警察に通報する。

11 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用することができる。ポールは、競技開始前に係員の検査を受け、許可されたものでなければならない。
- (2) 投てき物については、個人所有のものを認める。ただし、WAの承認品であることとし、招集開始時刻1時間前から60分間に検査を受け、合格したものは使用することができる。また、一括借り上げとし、参加競技者全員が共有できるものとする。

※検査場所はトラック競技フィニッシュ付近倉庫内で行う。投てき物は各自持参すること。返却も同場所で行う。

12 表彰について

- (1) 各種目1～3位には、賞状とメダル、4～8位には賞状を授与する。リレーチームの賞状は各チーム4枚とする。
- (2) 表彰式は、1～3位入賞者を対象に行うので、競技終了後、競技役員の指示に従い表彰者控え席（正面玄関エントランス）に集合すること。
- (3) 4～8位入賞者は成績発表後、賞状をTICまで取りに来ること。
- (4) 小学生友好100mは、表彰・賞状の対応は行わない。

13 競技場の使用について

- (1) 競技場の開門時間は午前7時とする。
- (2) 正面スタンドの横断幕の取り付けは禁止する。サイド・バックスタンドへの取り付けは許可するが、中段手すりより上にすること。
- (3) スタンドやスタンド裏通路等の場所には、荷物を置いておくことはできるが、個人・チームの責任とする。ただし、できる限りコンパクトにまとめる。ガムテープでの場所取りはできない。
- (4) 更衣室の使用はできるが、必要最低限の時間で使用すること。
- (5) 使用した場所の清潔を保ち、ごみは必ず持ち帰ること。

14 練習場の使用について

- (1) 補助競技場は、16日（金）は小学生専用とし、小学生用走高跳用マットとハードルを用意する。練習可能時間は13時30分から16時30分とする。17日（土）18日（日）は、7時45分から17時とする。
- (2) 補助競技場では、ジャベリックボール投げの練習は行わない。
- (3) メイン競技場・補助競技場の練習について
 - ①ジョギング・ウォーキングは補助競技場のフィールド内で行う。
 - ②トラック1・2レーンは周回種目のペース走専用とする。
 - ③トラック3～6レーンは流し専用とし、17日（土）は第1コーナーからバックストレートの5・6レーンを400mH専用とする。
 - ④ホームストレートの（7）・8・9レーンはハードル専用とする。補助競技場においては、17日（土）の14時までは小学生80mH用のハードルを設置し、14時以降は一般男子110mH・一般女子110mH用のハードルを設置する。
 - ⑤補助競技場内では、チームベンチの設置は認めない。
 - ⑥練習場内では係員の指示に従い、安全に気をつけること。

15 練習について

- (1) 練習時間は次の通りとする。 *小学生のメイン競技場での練習は禁止する。

	メイン競技場	補助競技場	
16日（金）	13時30分～16時30分	13時30分～16時30分	小学生のみ
17日（土）	7時45分～9時	7時45分～17時	
18日（日）	7時45分～9時	7時45分～17時	

※フィールド競技のメイン競技場での練習は競技前に公式練習として行う。

16 その他

- (1) プログラム訂正はTICに申し出ること。
- (2) 応急処置は医務室で行う。応急処置後は、責任をもたない。
- (3) 競技場には持ち込む衣類、バック等は規定（「競技会における広告および展示物に関する規定」）を順守すること。競技役員に指摘された場合はその指示に従うこと。
- (4) 棒高跳用ポールの輸送は各自で行うこと。
- (5) 参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会運営、成績の報道発表およびHPに使用します。また、本大会出場中の映像・写真・記録等への記載権は主催者に属します。